

株式会社ホットランド

証券コード: 3196

HotLand通信

2019.1.1 » 2019.12.31





代表取締役社長 佐瀬 守男

**2019年、「築地銀だこ」ブランドは国内500店舗に到達し、
既存店売上高前年比は3期連続100%超を達成いたしました。
2020年も「築地銀だこ」事業をベースに、成長ドライバーの多層化へ向けて取り組んでまいります。**

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年度、当社は主力ブランドの「築地銀だこ」事業に経営資源を集中させる戦略を継続して推進いたしました。概ね、期初に掲げた4つの経営方針通りに推進できた年度であり、業績につきましても、連結売上高32,434百万円（前年同期比2.2%増）、連結営業利益1,669百万円（同93.9%増）と良い結果で終わることができました。

「築地銀だこ」ブランドでは、2014年に400店舗を突破し、そして2019年に国内500店舗に到達いたしました。これも、株主の皆様をはじめとする多くのお客様に長らくご愛顧いただいているおかげであり、この場を借りて改めて感謝申し上げる次第です。

築地銀だこ事業においては、3月14日の創業の日になんだ『大創業祭』、8月8日の『銀だこの日』、12月には500店舗達成記念を祝した『感謝祭』といったキャンペーンをタイムリーに実施し、期間限定の新商品も積極的に投入するなど、常にお客様に“飽きられない”取り組みを意識して、展開してまいりました。天候不順や災害による店舗休業等の影響で弱含んだ時期もありましたが、年間通じての既存店売上高前年比は100.3%となり、期初計画であった100.0%を達成することができました。2020年は「“ぜったいいうまい!!たこ焼”を、さらにうまく！」をスローガンに掲げ、商品へのこだわりと技術・サービスのさらなる向上（＝ブランド価値の向上）を目指し、種々の取り組みを行ってまいります。

銀だこ酒場業態においては、出店拡大によるさらなる成長を目指すために、2019年4月1日に分社化を行い、株式会社ギンダコスピリッツを設立いたしました。ギンダコスピリッツは「酒場業態の“カテゴリーキラー”」をコンセプトとしており、「銀だこハイボール酒場」や「銀だこ大衆酒場」といったたこ焼酒場だけでなく、新業態の開発やM&Aにも積極的に取り組んでまいります。2018年にグ

ループ入りした「ごっつい」はお好み焼・鉄板焼酒場として、また新業態として「おでん屋たけし」を2019年は3店舗出店し、いずれも好調に推移しています。それらの集合体である「ギンダコハイボール横丁」は、11月に初めての空中階店舗として秋葉原店をオープンいたしました。ギンダコスピリッツ全体で、2019年は23店舗の出店を行いました。今後はFC（フランチャイズ）展開も強化し、店舗数の拡大による収益性の向上に取り組んでまいります。

製販事業においては、2018年度から開始したコンビニエンスストアでの冷凍たこ焼の販売が順調に拡大いたしました。冷凍クロワッサンたい焼の販売も開始し、製造量の拡大、流通販路の拡大とともに、ラインアップの拡大が進みました。製造拠点は、桐生工場をメインに、ベトナム工場、そして2020年からはタイ工場の稼働も開始します。製造キャパシティの拡大とともに稼働率の向上に取り組んでまいります。

海外事業においては、パートナーシップによるASEAN拡大に注力いたしました。11月にはシンガポールでの「築地銀だこ」1号店がオープンするなど順調に拡大しており、海外全体では2019年12月末現在の店舗数は66店舗となりました。2020年は北米での展開にも取り組んでまいります。

なお、主要な原材料であるたこの調達力強化の取り組みも、継続してまいります。

主力ブランドの「築地銀だこ」事業の安定的な成長をベースに、他の事業も着実に収益貢献が見える段階となってまいりました。成長ドライバーの多層化へ向けて、2020年も種々の取り組みを推進してまいります。

当社グループのさらなる成長、発展にご期待いただき、引き続きご支援の程をよろしくお願い申し上げます。

2020年3月

ホットランドのブランド紹介

ホットランドが展開する主なブランドをご紹介します。

築地銀だこ



「築地銀だこ」は、厳選素材を使用して、皮はパリッと、中はトロッと、たこはプリッと焼き上げた“ぜったいまい!!たこ焼”です。活気と親しみに満ちた雰囲気の中で、熟練の職人が一つひとつ心を込めて焼き上げるのが信条。まんまるアツアツのたこ焼を通して、ほっとするひと時やたくさんの笑顔を提供します。



銀だこ酒場業態



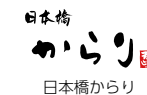
銀だこ大衆酒場 **ギンダコハイボール横丁**

「銀だこハイボール酒場」は、アツアツのたこ焼と爽快感のある強炭酸ハイボールの最高な組み合わせをご用意。酒場限定のたこ焼に加え、種類豊富なおつまみとお酒で楽しいひと時を過ごしていただけます。

「銀だこハイボール酒場」のほかに、昭和を思わせるどこか懐かしく親しみやすい店構えの「銀だこ大衆酒場」や、天ぷら・焼鳥・鉄板焼等の専門店を集合させた屋台形式の「ギンダコハイボール横丁」など、様々な形態で幅広い世代に愛される空間を提供します。



その他ブランド



「築地銀だこ」ブランド500店突破

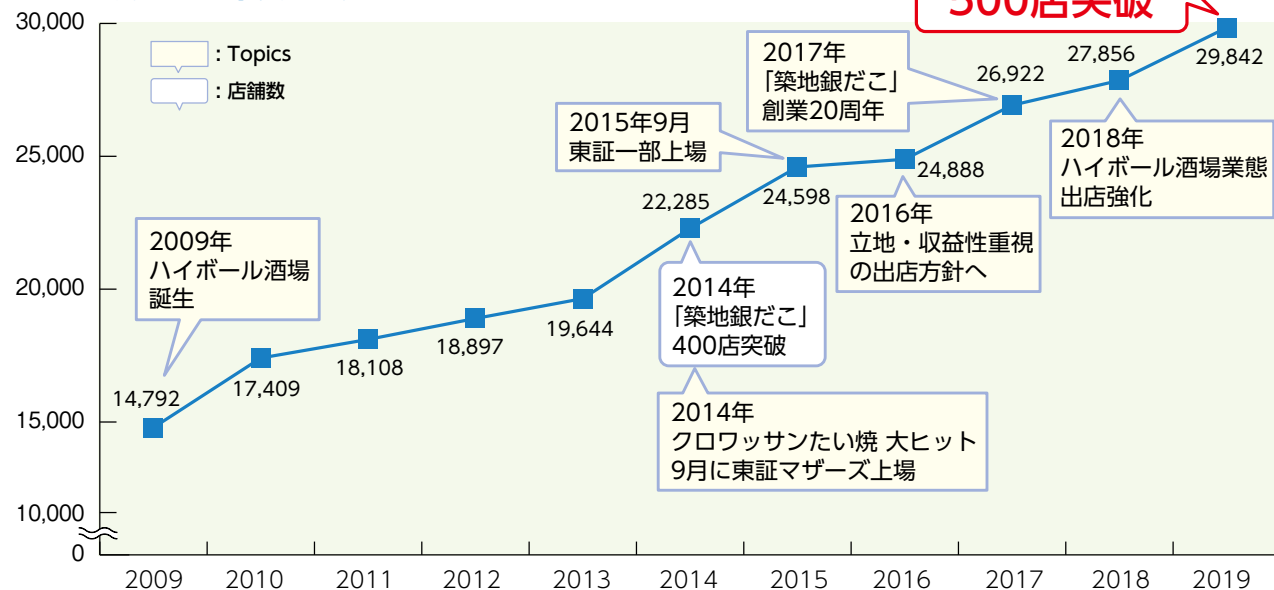
2019年度は、主力ブランドである「築地銀だこ」事業に経営資源を集中して事業を推進し、「築地銀だこ」ブランドの店舗数が500店舗を突破いたしました。今後ともさらなるブランド力の強化と事業モデルの深化を図ってまいります。

2019年度経営方針

- ① 築地銀だこ事業の強化 — 3期連続既存店前年比100%へ
- ② 銀だこ酒場業態の出店推進 — 銀だこハイボール酒場・銀だこ大衆酒場・ギンダコハイボール横丁
- ③ 製販事業の拡大 — 製造キャパシティ拡大、流通販路の拡大
- ④ 海外事業の推進 — パートナーシップによるASEAN拡大

■成長し続ける「築地銀だこ」

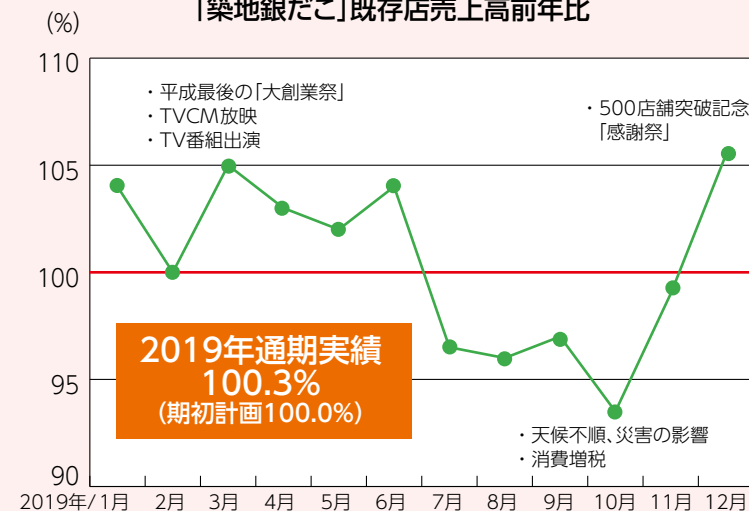
(単位:百万円) 「築地銀だこ」末端売上高



築地銀だこ事業

2019年度「築地銀だこ」既存店の売上高前年比において、3年連続で100%を達成いたしました。特に12月に実施した『「築地銀だこ」500店舗達成記念 感謝祭』では“サンキュー価格”として、たこ焼8個入りを「390円(+税)」で提供し大きな反響をいただきました。

「築地銀だこ」既存店売上高前年比



●継続的なイベント・キャンペーンの実施

▼感謝祭



▼銀だこの日



年8回の期間限定新商品も積極的に発売



キャンペーンでにぎわう店舗前

▼大創業祭



銀だこ酒場事業

株式会社ギンダコスピリッツ

当社グループの経営を高度化させ、成長スピードを上げること、競争力を高めることを目的に、2019年4月1日、銀だこ酒場業態事業を分社化し、株式会社ギンダコスピリッツを設立いたしました。同社のコンセプトは「酒場業態の“カテゴリーキラー”」。新規開発やM&Aによるコンテンツの拡充と積極的な新規出店に取り組んでまいります。

出店エリア 2019年12月末

合計 **71** 店舗

東京、神奈川、千葉、埼玉 → **65** 店舗
大阪、兵庫 → **5** 店舗
福岡 → **1** 店舗

ギンダコハイボール横丁



ハイボール酒場



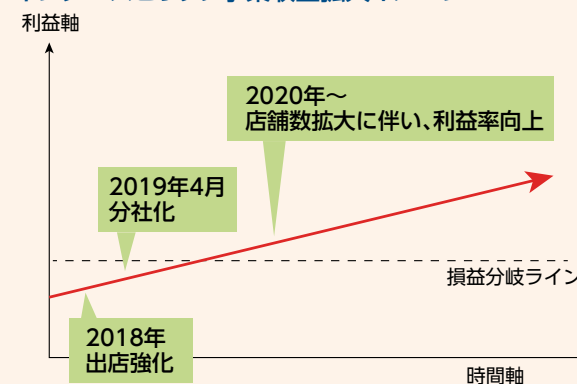
大衆酒場



おでん屋たけし



ギンダコスピリッツ事業収益拡大イメージ



製販事業

製造キャパシティ、商品ラインアップ、販路の拡大へ

コンビニエンスストアでの冷凍たこ焼の販売が順調に拡大していることに伴い、製造キャパシティの拡充に取り組んでおります。また、冷凍クロワッサンたい焼の販売も開始いたしました。製造キャパシティ、商品ラインアップ、販路の拡大に取り組み、そして工場の稼働率を高めることで当事業の収益性を向上させてまいります。

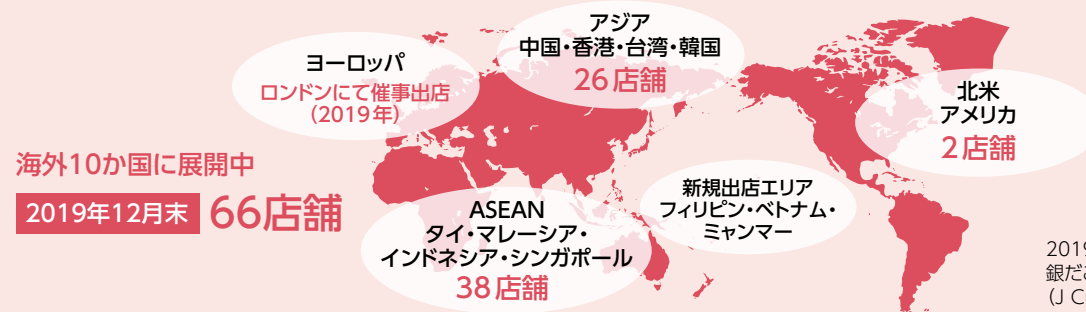
【製造キャパシティ拡充の取り組み】

2019年 3月：桐生工場 増設工事
 2019年12月：ベトナム工場 稼働・輸入開始
 2020年 6月：第2ベトナム工場 増設
 タイ工場 稼働開始



海外事業

パートナーシップによるASEANでの事業拡大を推進しております。2019年11月には、シンガポールにおいて「築地銀だこ」1号店がオープンし、順調なスタートを切りました。今後はアメリカでの展開にも取り組んでまいります。

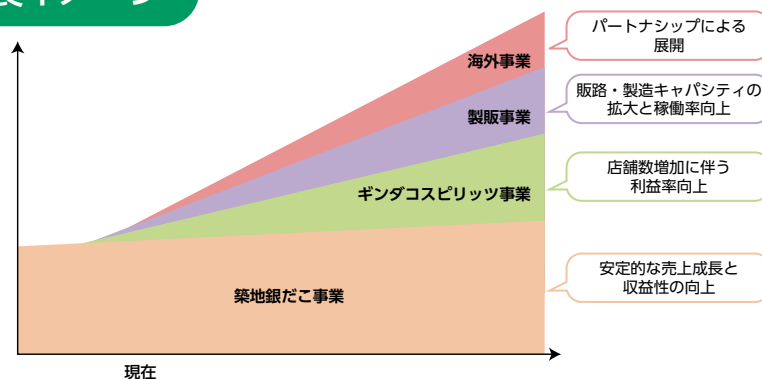


2019年11月29日OPEN
 銀だこシンガポール1号店
 (J Cube店)



中期的なグループ成長イメージ

主力ブランドの「築地銀だこ」事業の安定的な成長をベースに、子会社ギンダコスピリッツによる酒場業態の成長加速、製販事業の拡大、海外事業の推進等により、成長ドライバーの多層化を図り、さらなる成長を目指してまいります。



Topics

業態開発への取り組み

「東京油組総本店」

2019年8月、油そば専門店「東京油組総本店」を展開する株式会社サッポロ実業(東京都豊島区)と国内の複合商業施設におけるマスターフランチャイズ契約を締結いたしました。10～15坪程度の狭い土地でも店舗作りが可能な業態となります。

油そば
 東京油組総本店



個人投資家向けIR活動

当社は、個人投資家様向けのIRを継続的に実施しております。
2019年度は5月25日(土)と12月17日(火)の2回、「東京IPO主催・個人投資家向けIRセミナー2019」に出演いたしました。両日で約280名の個人投資家の皆様にご参加いただきました。代表取締役社長の佐瀬、取締役副社長の荻野が登壇し、当社の事業や戦略についてご説明させていただきました。

今後も、積極的にIR活動を実施してまいります。ご支援の程をよろしくお願い申し上げます。



配当に関するお知らせ

2019年度は、下記の通り1株当たり5円の期末普通配当を実施させていただきました。

2019年度
1株当たり配当金 5円



株主優待情報

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式の投資的な魅力をさらに高め、多くの皆様に保有していただくことを目的に株主優待制度を設けております。この機会に是非当社グループのサービスをご利用いただき、当社事業をより深くご理解いただけたら幸いです。

優待内容

6月末日、12月末日現在で1単位(100株)以上の当社株式を保有されている株主様を対象に、全国のホットランドグループの各店舗で利用できる優待券を贈呈

100株以上500株未満

半年毎に1,500円分(年間3,000円分)

500株以上1,000株未満

半年毎に7,500円分(年間15,000円分)

1,000株以上

半年毎に15,000円分(年間30,000円分)



※日本国内の株式会社ホットランドグループの各店舗でご利用いただけます。なお、一部優待券の取り扱いのできない店舗がございます。最新の店舗情報につきましては、当社ホームページにてご確認をお願いいたします。
(<http://www.hotland.co.jp/ir/yutai.php>)

ホットランド沿革

1991年6月 株式会社ホットランドを群馬県桐生市相生町に設立

1997年3月
「築地銀だこ」1号店をオープン



2009年5月
「銀だこハイボール酒場」1号店をオープン



2004年12月
「築地銀だこ」海外1号店(香港)をオープン

1998年10月
東京初出店として「築地銀だこ」サンモール中野店をオープン

2011年7月
復興商店街「ホット横丁石巻」を開設



2015年9月
東京証券取引所市場第一部へ市場変更



2014年9月
東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場

2017年10月
冷凍たこ焼の新工場を竣工

2019年4月
銀だこ酒場業態事業を分社化し株式会社ギンダコスピリッツを設立

2018年8月
「築地銀だこ(GINDACO)」米国1号店をオープン
10月
株式会社アイテム(お好み焼飲食店「ごっつい」)を完全子会社化

連結財務データ

【経営成績】

	2018年度 [第28期]	2019年度 [第29期]
売上高(百万円)	31,736	32,434
売上総利益(百万円)	18,792	19,799
営業利益(百万円)	860	1,669
経常利益(百万円)	744	1,600
親会社株主に帰属する当期純利益 又は当期純損失(△)(百万円)	△678	678
1株当たり当期純利益 又は当期純損失(△)(円)	△36.80	35.12

【財政状態】

	2018年度 [第28期]	2019年度 [第29期]
総資産(百万円)	16,460	17,730
純資産(百万円)	3,675	7,753
自己資本比率(%)	20.7	42.0
1株当たり純資産(円)	184.89	346.31

【キャッシュ・フローの状況】

	2018年度 [第28期]	2019年度 [第29期]
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	1,721	2,365
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△1,854	△2,096
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	23	375
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)	1,643	2,284

■会社概要 (2019年12月31日現在)

商号	株式会社ホットランド (証券コード：3196)
設立	1991年6月
代表者名	代表取締役社長 佐瀬 守男
資本金	32億9,469万9,900円
所在地	東京都中央区新富一丁目9番6号 ザ・パークレックス新富町
従業員数	607名
店舗数	国内593店舗・海外66店舗
連結子会社	国内4社・海外4社
出店形態(国内)	直営280店・PC146店・FC167店

■株式の状況 (2019年12月31日現在)

発行可能株式総数	65,324,000株
発行済株式の総数	21,508,600株
株主数	36,384名

■大株主 (2019年12月31日現在)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社佐瀬興産	4,900	22.78
佐瀬 守男	1,628	7.57
日本製粉株式会社	1,078	5.01
イオンモール株式会社	560	2.60
佐瀬 由美子	511	2.38
サントリー酒類株式会社	509	2.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	340	1.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	272	1.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	264	1.23
五味 大輔	230	1.07

株式についてのご案内(株主メモ)

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月中
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年 6月30日
単元株数	100株
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	http://www.hotland.co.jp/ir/ ただし、事故その他やむをえない事由によ って電子公告による公告ができない場合 は、日本経済新聞に掲載する方法により行 います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

